

大槌町 津波避難マップ

平成 26 年5月現在

○「津波避難マップ」の活用について

- このマップには、津波からの避難に必要な「避難場所」、「避難施設」、「東日本大震災の津波浸水区域」などを掲載しています。
- 「東日本大震災での避難の教訓」や、「津波の基礎知識」を参考に、身近な「避難場所」やそこに至る安全な避難路を確認しましょう。特に、「想定外」の津波も考慮し、より安全な避難先を複数確認することが重要です。
- 自分だけでなく、家族や町内会、企業等の単位で避難計画を検討しましょう。

*お問い合わせ先 大槌町総務課：0193-42-2111

東日本大震災での避難の教訓

- 「想定外」(ここまで来ない)による逃げ遅れ ▶ 大きな揺れ、津波警報が出たら、迷わず、「率先避難」・「声かけ」 **地図**
- (判断・行動に必要な)「情報待ち」による逃げ遅れ ▶ 情報収集に努めるが、なくても、「率先避難」・「声かけ」 **※1・2**
- 家族の安否が気になり、逃げ遅れ ▶ 事前の家族会議(てんでんこ)と事後の「災害伝言ダイヤル」 **※3・5**
- 避難行動要支援者・支援者の逃げ遅れ ▶ 家族や町内会等で「支援ルール」・「自助ルール」を検討 **地図**
- 過去の浸水範囲での様子見(ここまで来ない) ▶ より安全な高台を目指して「再避難」 **※5・地図**
- 道路渋滞による逃げ遅れ ▶ 「徒歩避難」の原則、「車での避難ルール」を地区・町で検討 **地図**
- モノを取りに・安否確認のため低地に戻り、逃げ遅れ ▶ 低地への「戻り」を制止、「持ち出し袋」(リスト)を準備 **※4**

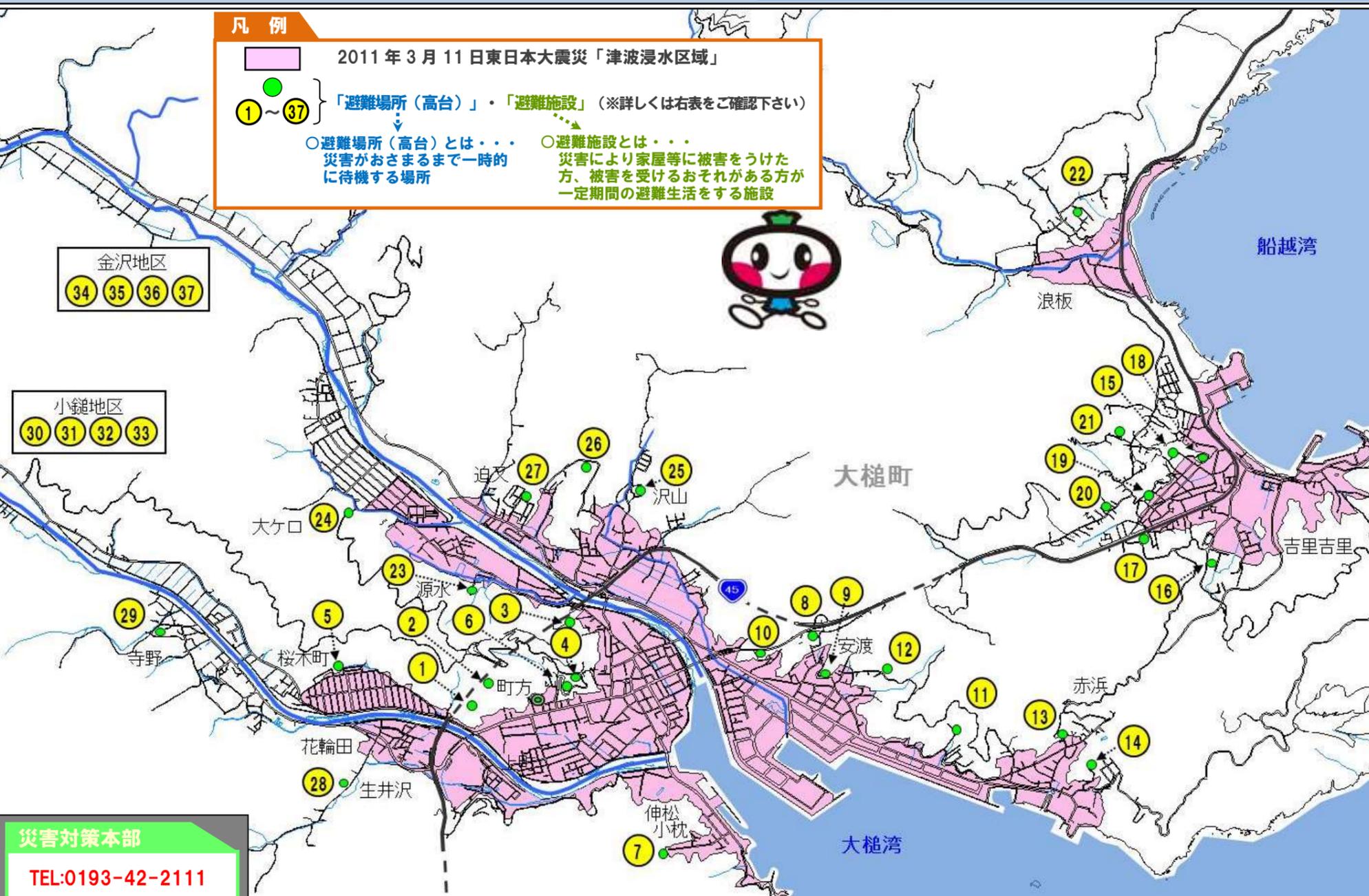
(*)その他、地域で震災の教訓を語り合い、次世代に継承しましょう!

津波の基礎知識

- 津波は、大きな地震の後に大きな津波が来る
- 津波は、震源が近いほど早く来る
- 津波は、引き波で始まるとは限らない(押し波も)
- 津波は、第1波が最大とは限らない
- 津波は、深いほど速いが、陸上でもオリンピック選手並みの速さ
- 津波は、繰り返し来る
- 津波は、人間の「想定」を超える
- 津波は、警報どおり来るとは限らない
- 津波は、揺れを感じなくても来る(遠地津波)

凡例

- 2011年3月11日東日本大震災「津波浸水区域」
- ①~③7 「避難場所(高台)」・「避難施設」(※詳しくは右表をご確認下さい)
- 避難場所(高台)とは・・・災害がおさまるまで一時的に待機する場所
- 避難施設とは・・・災害により家屋等に被害をうけた方、被害を受けるおそれがある方が一定期間の避難生活をする施設



NO.	所在地区	避難場所(高台)・避難施設名	標高(m)	避難場所	避難施設	収容人数
①	町方	小籠神社高台	9	●		
②		大念寺高台	10	●		
③		蓮乗寺裏山	15	●		
④		中央公民館駐車場	39	●		
⑤		桜木町裏山	10	●		
⑥		城山公園体育館	30		●	500
⑦		小枕	小枕裏山	10	●	
⑧	安渡	旧安渡小学校	21	●		
⑨		大槌稲荷神社(二渡神社)境内	25	●		
⑩		安渡大徳院裏山	20	●		
⑪		惣川高台	30	●		
⑫		古学校高台	37	●		
⑬	赤浜	八幡神社境内	20	●		
⑭		2丁目裏山	15	●		
⑮	吉里吉里	吉里吉里小学校	22	●	●	110
⑯		吉里吉里中学校	20	●	●	290
⑰		吉里吉里地区体育館	23	●	●	220
⑱		天照御祖神社	20	●		
⑲		吉里吉里駅前広場	22	●		
⑳		花道児童公園	34	●		
㉑		吉祥寺三光殿	65	●	●	150
㉒	浪板	交流促進センター	28	●	●	100
㉓	源水	源水裏山(大槌第8仮設裏山)	13	●		
㉔	大ケ口	大ケ口裏山(城山間林道)	10	●		
㉕	沢山	沢山裏山(大槌変電所奥)	10	●		
㉖		大槌高等学校体育館	29	●	●	840
㉗	迫又	迫又団地高台	17	●		
㉘	花輪田	生井沢裏山(小籠第20仮設集会所前)	10	●		
㉙	寺野	臼澤鹿子踊伝承館	16		●	100
㉚	小籠	小籠地区多目的集会所	74	●	●	50
㉛		蕨打直集会所	46	●	●	50
㉜		旧大槌町託児所	50	●	●	30
㉝		長井分館(清流館)	295		●	60
㉞	金沢	渋梨公民館(かみよ稲穂館)	28		●	90
㉟		旧金沢小学校体育館	115		●	390
㊱		金沢地区生活改善センター	100		●	40
㊲		金沢分館(金沢支所)	120		●	130

災害対策本部
TEL:0193-42-2111

防災行政無線を聞き逃した場合は?(※1)
下記番号にお電話いただければ、24時間以内の放送内容に限り、直近のものから繰り返し聞くことができます。
TEL:0193-42-5390

いわてモバイルメールに登録しましょう(※2)
防災情報などが、携帯電話・スマートフォンへのメールアドレスに届きます。下記のURLから登録できます。
<http://www.highway.pref.iwate.jp/mobile/>

「災害用伝言ダイヤル」の使い方(※3)
伝言の録音及び再生により、家族との連絡を可能にするものです。
○録音する時は 171-1-0193-自宅の電話番号
○再生する時は 171-2-0193-自宅の電話番号

持ち出し品の用意をしておきましょう(※4)
●水、乾パン、缶詰等の飲食品
●軍手、靴下、下着、雨具、防寒着類
●常備薬、絆創膏等の救急セット
●現金、保険証、通帳、印鑑等の貴重品
●懐中電灯、携帯ラジオ、電池
●赤ちゃんのおむつ、粉ミルク、家族の写真等

家族で避難場所等を相談しておきましょう(※5)
我が家の避難場所 ()
家族の集合場所 ()

※ 避難施設となる学校や体育館等の施設への分散備蓄を進めています。主に、アルファ化米、保存水、ドライミルク、毛布、衛生品、災害用トイレ、発電機等を備蓄しています。
※ 揺れが大きい時は、落下物や転倒しやすいものにご注意しましょう。